

目標達成計画

作成日: 令和3年12月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍においても自施設での防火訓練や災害時避難訓練は実施しているが、地域住民との合同訓練は実施していない。今後コロナ禍であろうとも、大規模な災害発生を想定し地域への協力体制の確立が必要と考える。	コロナ禍においても、火災時や災害時には地域住民の連携や協力を得ながら避難訓練ができる体制づくりができる。	コロナ禍においても公民館や地域住民の協力を得て地域住民合同の災害時避難訓練を開催できるよう話し合い、年1回は開催できるよう準備をすすめる。	12ヶ月
2	26	現在職員会議の場でモニタリング、情報の共有、具体的な援助方法などを検討しているが、限られた時間で行っているため、不十分なところがある。また、援助方針や意図、入居者の様子が伝わっていない場合がある。	入居者、家族とも、納得して支援を受けることができる。	①入居者、家族、専門職が同席して担当者会議を開催し支援内容を確認する。 ②日々の状態、支援状況を毎月のおたよりに添付し家族が状況の把握をしやすいように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。